

一般質問の質問者順番と質問事項

(令和8年 第2回定例会)

質問順位	10	11番議員	大山勝代
質問事項1	子育て支援策として、保護者の教育費負担軽減を求める		
質問の要旨	<p>「生活費が大変なので、新年度から給食費がゼロになり本当に助かります。」これは小学生をもつ母親からの声だ。4月から国の制度として公立小学校の給食費が無償化された。これは国民の粘り強い要望の成果である。憲法には「義務教育はこれを無償とする」(第26条第2項)とある。小学校給食費無償化が実現したことで、今後は教育費全般の無償化を求めやすくなる。これを機に中学校の給食費の無償化をはじめ、様々な教育費の保護者負担の軽減を進めることで、国は憲法の理念に近づくことになる。ひいては合計特殊出生率2.0を目指し、少子化に歯止めがかけられることが期待される。</p> <p>そのためにはまず、地方自治体の子育て支援を充実させることが足掛かりになると考える。基山町のさらなる子育て支援策の充実を願い問う。</p>		
具体的な質問及び質問の相手	<p>(1) 近年の子育て支援策の充実等で本町は人口が増加している。国、県と比較して合計特殊出生率はどう推移しているか</p> <p>(2) 中学校の給食費無償化を実現するには、どれくらいの予算が必要になるか</p> <p>(3) 現在一部給食費の補助を受けている生徒の人数と、それに伴う予算額を示せ</p> <p>(4) 県内の半数を超える市町が公立中学校含む給食費の完全無償化をする中、特に10町のうち3町だけが完全無償化ではない。本町が未実施の理由が見当たらない。国の動向を待つのではなく、中学校の給食費無償化に踏み切れないか</p> <p>(5) 公立中学校の給食費無償化の完全実施が単年でできないのであれば、3年間の段階的な実施が考えられないか。その場合の財政支出額を示せ</p> <p>(6) 学校給食に有機食材を増やす計画は検討されているか</p> <p>(7) 令和6年度の一般質問で、保護者負担の学校費用</p>	<p>町長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育校</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p>	

	<p>について軽減を求めた。その後検討された結果、何が公費負担になったか</p> <p>(8) 小・中学校の保護者負担の校納金の額を示せ</p> <p>(9) 今後、個人負担ではなく公費で賄おうと考えているものは何かがあるか</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p>
--	--	-----------------------